

大韓土木学会・土木学会・台湾公共工程学会ジョイントセミナー参加報告

2014年8月29日、韓国釜山の国立釜慶大学において大韓土木学会（以下KSCE）釜山支部、土木学会（以下JSCE）西部支部、台湾公共工程学会によるジョイントセミナーが開催されました。

本セミナーは、KSCE釜山支部と西部支部が連携して2012年に熊本で第一回が行われ、今回は台湾を加えた3者で開催されました。西部支部は、今年土木学会創立100周年にあたることから、100周年記念事業としても実施しています。

本セミナーは、環境から防災まで多岐にわたる分野で日・韓・台の専門家や学生が発表を行いました。沈KSCE会長、小松九州大学名誉教授らによる開会挨拶にはじまり、山崎西部支部長、李KSCE釜山支部長らによる基調講演ののち、共通言語の英語によりセミナーが進められました。西部支部は、九州大学、熊本大学、宮崎大学の学生13名と、引率5名、山崎支部長、小松名誉教授の20名が参加しました。学生たちは、海外で初めて英語による発表でした。英語での説明は流暢に堂々としていましたが、質問に対しては普段使っていない英語のため、悪戦苦闘している学生の姿も見られました。この経験は学生たちには貴重なものになったと思います。各発表では、韓国・台湾の専門家から鋭い質問や今後の研究への意見が出され、活発な意見交換がなされました。台湾からの発表では、京都大学出身の樋口博士が発表し、海外の研究機関で日本人が活躍していることも学生には励みになったと考えます。また、本セミナーに在釜山日本国総領事館の川俣領事も参加されました。



小松九州大学名誉教授による開会挨拶



西部支部学生の英語による発表

本セミナーは、支部同士ではありますが、学協会の協力協定締結国と積極的な技術・学術交流が促進された成功例です。国内各支部や関係者がそれぞれ海外との交流を促進することは、技術・学術の上で相乗効果が得られるとともに、日本のインフラや基礎技術の紹介の場ともなります。

今回のセミナーは、李東郁釜慶大学名誉教授（JSCE韓国分会長）と柯武徳正修科技大学助教授（JSCE台湾分会幹事長）及び李KSCE釜山・蔚山・慶南支部長のご尽力により行われました。この場をお借りして感謝の意を表します。



西部支部参加者集合写真